

Josep Miquel Jornet 先生 講演会報告

～様々な規模のテラヘルツ通信においてエネルギーが意味すること：
時間と空間に焦点を当てて～



目で見る
海外講師講演会

三浦典之*

Lecture of Prof. Josep Miquel Jornet (Northeastern University, USA)
“Energy Implications of Terahertz Communications Across Scales: Focusing in Time and Space”

Key Words : Terahertz, communications, IoT

<講演会名>

Green IoT Workshop, Josep Miquel Jornet 講演会

<開催時期> 令和6年6月20日

<開催場所> 大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール

<講師> ノースイースタン大学
Josep Miquel Jornet 教授

令和6年6月20日に大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホールにおいて開催したJST AdCORPプロジェクト主催のGreen IoT Workshop内で、ノースイースタン大学のJosep M. Jornet教授をお招きし、講演会を開催した。

Jornet教授は、モノのインターネット (Internet of Things : IoT) での利用が想定される、自律分散型情報端末の次世代無線通信システムに関して学術・産業の両分野で最先端の研究に従事している。今回は、可視光の波長領域に迫るテラヘルツ (THz = 1兆、10の12乗 Hz) の超高周波数で振動する電磁波を利用した無線通信技術について、時間と空間的にスケールの異なる様々な系で利用されるTHz通信の要素技術を紹介され、特にエネルギー効率の観点で持続可能なIoTシステムへの貢献の可能性を議論された。多くの聴衆の関心を引き、講演会終了後の意見交換会では、講演会に参加した学生、

教員、企業研究者との活発な議論がなされた。

本講演会は、生産技術振興協会の海外講師講演会奨励事業からの多大なご支援を頂いた。末筆ながら同協会のご支援にお礼申し上げる。



講演会の様子



Josep Miquel Jornet

1984年4月生まれ
Northeastern University
Department of Electrical and Computer
Engineering
教授 Ph.D.
専門/通信工学
E-mail : j.jornet@northeastern.edu

*講演会主催者 大阪大学大学院情報科学研究科情報システム工学専攻 教授